

平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月15日

上場会社名 株式会社クロニクル 上場取引所 大  
 コード番号 9822 URL http://www.chronicle-net.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石神 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保田 峰夫 (TEL) 03(5771)1200  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績（平成22年10月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	2,175	△17.3	△549	—	△555	—	△607	—
22年9月期第3四半期	2,631	△2.6	△540	—	△534	—	△322	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年9月期第3四半期	△12	65	—	—
22年9月期第3四半期	△0	72	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年9月期第3四半期	4,823		4,485		93.0		91.59	
22年9月期	5,291		4,968		93.8		11.10	

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 4,485百万円 22年9月期 4,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,000	△14.5	△600	—	△600	—	△650	—	△13.66	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期3Q	48,969,237株	22年9月期	447,692,131株
23年9月期3Q	1,709株	22年9月期	16,251株
23年9月期3Q	48,034,232株	22年9月期3Q	447,675,947株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は[添付資料] P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 平成22年12月22日開催の定時株主総会において、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行うことが承認可決され、平成23年2月28日付で当該株式併合が行われております。なお、「3. 平成23年9月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(第3四半期連結会計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による甚大な被害及びこれに起因する福島第一原発事故による電力供給不足等の影響、また、長引く円高や雇用情勢悪化等、依然として厳しい状況の中で推移しております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクル及び第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社クリエイト24による投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、前第4四半期より新たな事業としてスタートいたしました株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業、同社及び第1四半期連結会計期間より新たに関連会社となった株式会社ベルモアカフェによる流通サービス関連事業により展開しております。

当第3四半期連結会計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は627百万円（前第3四半期連結会計期間は852百万円で前第3四半期連結会計期間比26.3%減）に止まり、経済環境の低迷等による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [宝飾品部門]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とする、リセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は130百万円（前第3四半期連結会計期間は224百万円で前第3四半期連結会計期間比41.7%減）に止まり、現在の経済環境等による影響の下、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

#### [投資部門]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は3百万円（前第3四半期連結会計期間は9百万円で前第3四半期連結会計期間比61.8%減）となりました。

#### [WEB情報部門]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開した結果及び第1四半期連結会計期間より新たな子会社1社が同事業に参入した結果、売上高は399百万円（前第3四半期連結会計期間は618百万円で前第3四半期連結会計期間比35.4%減）となりました。

#### [リサイクル事業部門]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取りサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げており、当第3四半期連結会計期間の売上高は0百万円となっております。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

#### [流通サービス関連事業部門]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開した結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は93百万円となりました。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

以上の結果、売上高におきましては627百万円（前第3四半期連結会計期間は852百万円で前第3四半期連結会計期間比26.3%減）、営業損失におきましては、のれんの償却費41百万円等の計上により△224百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失△222百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差損20百万円等による営業外費用20百万円の計上により△238百万円（前第3四半期連結会計期間は経常損失△255百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、貸倒引当金戻入額49百万円等による特別利益の計上により△192百万円（前第3四半期連結会計期間は四半期純損失△60百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて468百万円減少し、4,823百万円となりました。

資産減少の主な内容は、現金及び預金の減少額335百万円、商品の減少額123百万円及び営業投資有価証券の減少額59百万円並びに貸倒引当金の減少額11百万円等に伴う減少であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて14百万円増加し、338百万円となりました。

負債増加の主な原因は、長期借入金の増加額16百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて483百万円減少し、4,485百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△607百万円の計上と平成22年12月3日を効力発生日とする㈱エフ・データクリエイション及び㈱クリエイト21(現:㈱クリエイト24)との株式交換に基づくその他資本剰余金の増加額126百万円によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第3四半期連結会計期間末に比べ408百万円減少し、204百万円となりました(前第3四半期連結会計期間末は612百万円で前第3四半期連結会計期間末比66.6%減)。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、前第3四半期連結会計期間に比べ270百万円(前第3四半期連結会計期間は増加額228百万円)増加し、41百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失△186百万円の計上、営業投資有価証券の減少額56百万円、売上債権の減少額31百万円、仕入債務の増加額36百万円、未払金の増加額17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、前第3四半期連結会計期間に比べ11百万円(前第3四半期連結会計期間は使用額14百万円)減少し、3百万円となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入2百万円及び貸付による支出△5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、前第3四半期連結会計期間に比べ2百万円(前第3四半期連結会計期間は使用額0百万円)増加し、2百万円となりました。

これは主に、借入金の返済による支出△2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

固定資産に係る減価償却費のうち定率法により算定するものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成19年9月期に△1,638百万円、平成20年9月期に△500百万円、平成21年9月期に△113百万円と3期連続して営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスの状況が続いております。

また、平成19年9月期に△160百万円、平成20年9月期に△280百万円、平成21年9月期に△656百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△648百万円と4期連続して営業損失を計上しており、平成19年9月期に△1,229百万円、平成20年9月期に△1,334百万円、平成21年9月期に△2,389百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△893百万円と大幅な当期純損失を計上しております。

これにより、当社グループには将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

さらに、当第3四半期連結会計期間においても営業キャッシュ・フローについて△41百万円のマイナスの状況が発生しており、また、営業損失△224百万円の計上、また、為替差損20百万円の計上等により四半期純損失△192百万円を計上しており、依然として将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべくWEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化の計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告、WEB通販の拡大による新たな顧客層の獲得、販路の拡大、また、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大により、売上及び収益の拡大を見込んでおります。

今後は関係会社の拡大・安定した収益の取り込みによる増収増益及び海外リセール・オークション事業の再開及びWEB販売により新たな顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化を行ってまいります。

上記の諸策により、売上高及び利益の増加を見込んでおり、重要な不確実性は認められません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	204,541	540,378
売掛金	289,040	284,201
営業投資有価証券	2,483	※1 61,866
営業出資金	923,550	895,392
営業貸付金	308,000	308,000
商品	816,640	940,029
繰延税金資産	13,591	19,066
その他	82,913	67,639
貸倒引当金	△29,989	△69,296
流動資産合計	2,610,771	3,047,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	57,103
減価償却累計額	△14,252	△13,371
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物(純額)	33,138	34,018
工具、器具及び備品	79,930	76,259
減価償却累計額	△63,823	△61,339
減損損失累計額	△11,331	△9,970
工具、器具及び備品(純額)	4,775	4,948
車両運搬具	8,374	4,830
減価償却累計額	△4,213	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具(純額)	1,901	0
土地	75,445	75,445
有形固定資産合計	115,260	114,413
無形固定資産		
のれん	1,807,006	1,814,491
その他	59,212	39,200
無形固定資産合計	1,866,218	1,853,692
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	37,719
長期貸付金	26,712	13,799
繰延税金資産	11,569	14,922
長期未収入金	90,623	94,579
破産更生債権等	1,072,298	1,098,514
その他	114,128	110,668
貸倒引当金	△1,122,109	△1,093,845

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
投資その他の資産合計	230,942	276,358
固定資産合計	2,212,421	2,244,464
資産合計	4,823,192	5,291,741
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,971	129,727
短期借入金	7,648	—
未払金	101,404	※1 81,593
未払法人税等	6,412	29,046
賞与引当金	1,490	3,424
その他	65,406	69,589
流動負債合計	311,334	313,381
固定負債		
長期借入金	16,160	—
退職給付引当金	7,786	7,456
その他	2,897	2,647
固定負債合計	26,844	10,104
負債合計	338,178	323,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,461,500
資本剰余金	1,076,598	5,218,220
利益剰余金	△1,587,158	△5,708,882
自己株式	△525	△524
株主資本合計	4,488,913	4,970,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,899	△2,057
評価・換算差額等合計	△3,899	△2,057
純資産合計	4,485,014	4,968,256
負債純資産合計	4,823,192	5,291,741



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,631,510	2,175,447
売上原価	1,239,942	1,191,021
売上総利益	1,391,567	984,426
販売費及び一般管理費	※1 1,931,782	※1 1,533,453
営業損失(△)	△540,214	△549,026
営業外収益		
受取利息	2,872	727
受取配当金	642	1,641
有価証券売却益	12	—
受取家賃	7,196	7,290
債務戻入益	11,862	9,112
雑収入	600	2,553
営業外収益合計	23,186	21,325
営業外費用		
支払利息	118	91
支払保証料	—	97
為替差損	15,062	26,531
貸倒引当金繰入額	689	—
貸倒損失	1,531	—
持分法による投資損失	—	1,200
雑損失	310	0
営業外費用合計	17,712	27,920
経常損失(△)	△534,740	△555,622
特別利益		
有価証券売却益	118,551	—
貸倒引当金戻入額	119,671	27,162
賞与引当金戻入額	11,243	1,351
受取補償金	2,130	—
その他	18	2,487
特別利益合計	251,615	31,001
特別損失		
減損損失	4,204	2,758
商品廃棄損	—	29,627
訴訟和解金	—	12,000
株主名簿引継手数料	—	25,948
特別損失合計	4,204	70,334
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,330	△594,954
法人税、住民税及び事業税	18,869	3,168
過年度法人税等	53	447
法人税等調整額	16,384	8,828
法人税等合計	35,307	12,444
四半期純損失(△)	△322,638	△607,399

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	852,409	627,941
売上原価	512,534	382,965
売上総利益	339,875	244,975
販売費及び一般管理費	※1 562,059	※1 469,595
営業損失(△)	△222,184	△224,619
営業外収益		
受取利息	806	125
受取配当金	254	632
受取家賃	2,532	2,226
債務戻入益	1,893	3,552
雑収入	26	53
営業外収益合計	5,512	6,590
営業外費用		
支払利息	—	4
支払保証料	—	32
為替差損	38,951	20,569
雑損失	—	0
営業外費用合計	38,951	20,606
経常損失(△)	△255,622	△238,636
特別利益		
有価証券売却益	112,056	—
貸倒引当金戻入額	114,329	49,436
賞与引当金戻入額	1,126	1,351
受取補償金	30	—
その他	18	1,534
特別利益合計	227,559	52,323
特別損失		
減損損失	—	400
特別損失合計	—	400
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,062	△186,712
法人税、住民税及び事業税	13,878	△1,372
法人税等調整額	18,729	6,659
法人税等合計	32,607	5,287
四半期純損失(△)	△60,670	△192,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,330	△594,954
減価償却費	46,416	13,927
減損損失	4,204	2,758
のれん償却額	136,639	122,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120,629	△11,117
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,083	△1,934
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△374	330
受取利息及び受取配当金	△3,514	△2,369
支払利息	118	91
為替差損益(△は益)	176	41
その他の特別損益(△は益)	—	△952
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	78,197	59,383
営業出資金の増減額(△は増加)	—	△30,000
持分法による投資損益(△は益)	—	1,200
売上債権の増減額(△は増加)	58,800	6,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	241,971	123,388
仕入債務の増減額(△は減少)	41,933	△5,398
未収入金の増減額(△は増加)	16,155	3,352
その他の資産の増減額(△は増加)	5,334	4,987
未払金の増減額(△は減少)	△25,571	18,665
その他の負債の増減額(△は減少)	△40,054	△13,805
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△4,163	26,215
小計	119,226	△277,429
利息及び配当金の受取額	2,818	2,049
利息の支払額	△118	△91
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,692	△30,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,234	△306,059
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,988	△3,473
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,914
貸付けによる支出	△57,500	△32,880
貸付金の回収による収入	47,433	20,049
定期預金の預入による支出	△7	—
定期預金の払戻による収入	10,078	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,550	—
敷金の回収による収入	—	3,734
その他の支出	△14,294	△12,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,828	△28,942

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	3,070
借入金の返済による支出	—	△3,862
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△793
現金及び現金同等物に係る換算差額	△176	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	95,228	△335,837
現金及び現金同等物の期首残高	517,689	540,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 612,917	※1 204,541

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	224,559	9,790	618,059	—	852,409	—	852,409
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,026	3,856	1,564	1,810	8,257	△8,257	—
計	225,586	13,647	619,623	1,810	860,667	△8,257	852,409
営業利益又は営業損失(△)	△182,347	△3,945	84,670	△7,119	△108,742	△113,442	△222,184

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	606,174	71,717	1,953,618	—	2,631,510	—	2,631,510
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,280	11,836	28,545	8,230	56,892	△56,892	—
計	614,455	83,554	1,982,163	8,230	2,688,403	△56,892	2,631,510
営業利益又は営業損失(△)	△282,466	△176,901	89,504	△45,039	△414,902	△125,311	△540,214

(注)

1. 事業区分の方法

事業は、宝飾品事業、投資事業、WEB情報事業、その他事業にて区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
宝飾品事業	宝飾品(高級輸入時計、宝石類)等
投資事業	営業投資有価証券、匿名組合投資等
WEB情報事業	WEB情報サイト運営、広告等
その他事業	マネージメント料等

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループは、複数の事業を行っており、当該事業により包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社及び当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「宝飾品事業」、「投資事業」、「WEB情報事業」及び「流通サービス関連事業」並びに「リサイクル事業」の5事業を報告セグメントとしております。

「宝飾品事業」は、主に、正規高級輸入時計の販売(卸売及び小売)及びリセール商品取扱等であり

ます。

(正規品)

当社子会社である㈱ドゥーズが正規取扱店となっている海外高級腕時計を国内において小売及び卸売販売をしております。

(リセール)

当社子会社である㈱アメイジングバリューが国内外市場に対して宝飾品、特に高級腕時計を中心に販売を行っております。国内外・リセール・オークションをキーワードに販売しております。

「投資事業」は、法人向内容にて安全かつ確実なる投資案件に対し、出資を行っております。

「WEB情報事業」は、結婚情報サイト、競馬情報サイト、WEB広告、WEB通販等を中心に営業活動を行っております。

「流通サービス関連事業」は、軽飲食サービスへのコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を行っております。

「リサイクル事業」は、金、プラチナを中心としたリサイクルブランド「黄金市場」の運営、フランチャイズ展開を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	518,431	11,720	1,325,239	284,938	35,117	2,175,447
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,993	30,759	8,340	—	—	56,093
計	535,424	42,479	1,333,579	284,938	35,117	2,231,540
セグメント利益 又は損失(△)	△138,838	△217,595	△8,160	△24,980	△19,273	△408,847

当第3四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	130,973	3,743	399,510	93,715	—	627,941
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,740	8,631	5,471	—	—	15,843
計	132,713	12,374	404,982	93,715	—	643,784
セグメント利益 又は損失(△)	△89,320	△36,351	△23,564	△7,694	△9,465	△166,395

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△408,847
セグメント間取引消去	△5,690
のれん償却額	△122,432
棚卸資産の調整額	△217
貸倒引当金の調整額	△14,055
減価償却費の調整額	2,216
四半期連結損益計算書の営業損失	△549,026

当第3四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△166,395
セグメント間取引消去	△4,857
のれん償却額	△41,236
棚卸資産の調整額	164
貸倒引当金の調整額	△13,245
減価償却費の調整額	950
四半期連結損益計算書の営業損失	△224,619

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「投資事業」セグメントにおける事業用資産である「ソフトウェア」について、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結会計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該「投資事業」セグメントにおける「ソフトウェア」に係る減損損失の額は400千円であり、当第3四半期連結会計期間において同額の減損損失を計上しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結会計期間末(平成23年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

当社は、平成22年12月3日を効力発生日とする㈱エフ・データクリエイション及び㈱クリエイト21(現:㈱クリエイト24)との株式交換に基づき、㈱エフ・データクリエイションの株主に対し当社株式22,000,000株及び㈱クリエイト21(現:㈱クリエイト24)の株主に対し当社株式20,000,240株の合計42,000,240株の新株を発行してお



り、これにより資本剰余金が126,000千円増加しております。

また、平成23年2月28日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金461,500千円及び資本準備金3,671,499千円を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金のうち4,729,122千円を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が461,500千円、資本準備金が3,671,499千円、その他資本剰余金が470,122千円それぞれ減少し、その他利益剰余金が4,729,122千円増加し、第3四半期連結会計期間末において資本金が5,000,000千円、資本剰余金が1,076,598千円、利益剰余金が△1,587,158千円となっております。